

きらきら

ミルクティー

ただいま

仕事帰りの暗い夜道
残業続きで疲れを背負ったスーツ姿の僕

君のことを思い浮かべ
「もうすぐ帰る」
とメールを送る

かじかむ指先
僕を見下ろす星空

明かりのともった家
シチューのにおい
一呼吸置いて僕はドアを開ける

「ただいま」

おかえり

「ただいま」

たっぷりストレスを吸った背中
疲れがとれますようにと
そっと抱きしめる

「お疲れさま」

「ありがとう」

新しくはじまる明日は
きっとあなたの味方

虹空

長く降りつづく雨
ひとりきりのこころ
ひそやかに見つめて

やがて
空に淡くかかる虹
穏やかな陽射しが降り注ぐなか
きっと願いはかなう

やさしい空の下
わたしに気づいたあなた
大きくこちらに向かって手を振る

きらきら

誰とも違う
宝石のような音の世界
しなやかな指先は
鳥のように自由

誰よりもやさしく
誰よりもはない

やさしく鍵盤をさわる
なめらかな指先
あなたが奏でる音は
きらきら

ラストラブ

片思いに失恋

いつも恋愛ベタな私

ゆっくり軌道修正して

向かい合ったのがあなた

このままじゃダメ

真剣に考えないと

あなたと過ごす日々

次第に募る想い

最後に好きになったのが

あなたでよかった

スカイブルー

前が見えないのは
とまらない涙のせい

上を見上げると
限りないスカイブルー
こんなときでも清々しくて
少しだけ気分が上向きになる

わたしが流した涙は
きっとすぐに乾くだろう
でもこころの底の憂いは
いつまでもそのまま

だから
限りないスカイブルー
わたしのためにありつづけて

夕暮れ

夕暮れのなか
ちらちら降る雪
いつもの道が違う顔を見せる

わたしとあなたその他は誰もいない
忘れられた世界

わたしに手を差し出す
あなたの目はやさしい
手袋ごとに伝わるあなたの想い

不器用なあなた
言葉はないけど
そのやさしさがわたしを幸せにする

未来

流れはじめる
幸せの時間

鳴り響く鐘が
隣にいるあなたが
わたしを笑顔にさせる

未知の世界は
時に不安で
でもあなたとなら
乗り越えられる

笑顔で振りかえるあなたに
大きく頷く

一緒に幸せになろうね